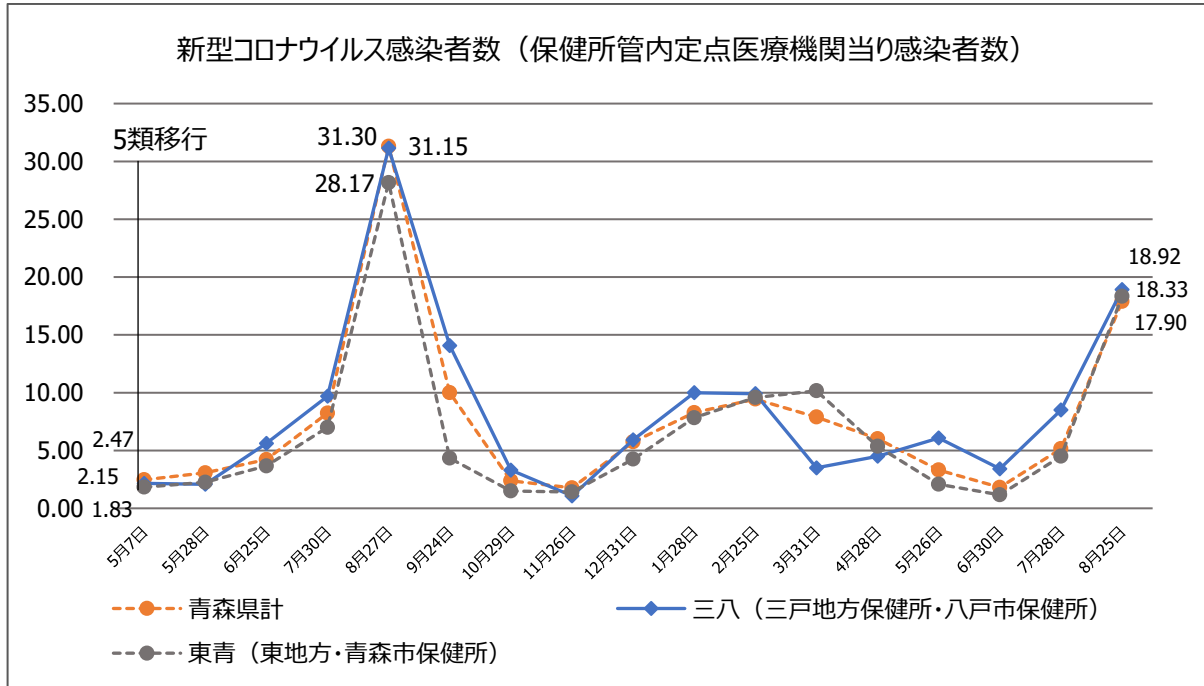


【個人消費：社会経済環境】

《 新型コロナウイルス 》

新型コロナウイルス感染者は、8月の段階では1医療機関当たり、県全体が17.90人、青森地区は18.33人、八戸地区は18.92人と、7月以降増加傾向となっている。

＜ 新型コロナ感染者数（2024年8月） ＞

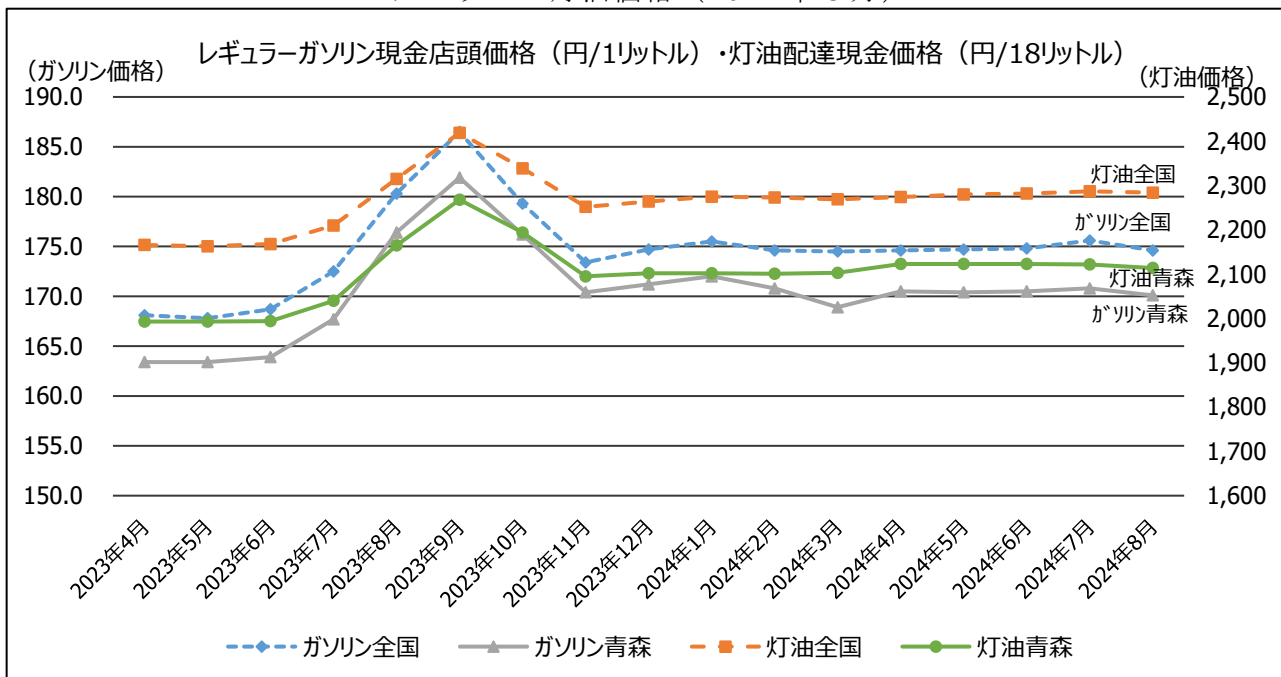


資料出所：青森県保健福祉部健康衛生課

《 ガソリン価格・灯油価格 》

ガソリン価格・灯油価格のいずれも、ほぼ横ばいの状況。青森県全県では、いずれも全国を下回っているものの、1年前と比べると価格は下がっているが、高い水準にとどまっている。

＜ ガソリン・灯油価格（2024年8月） ＞

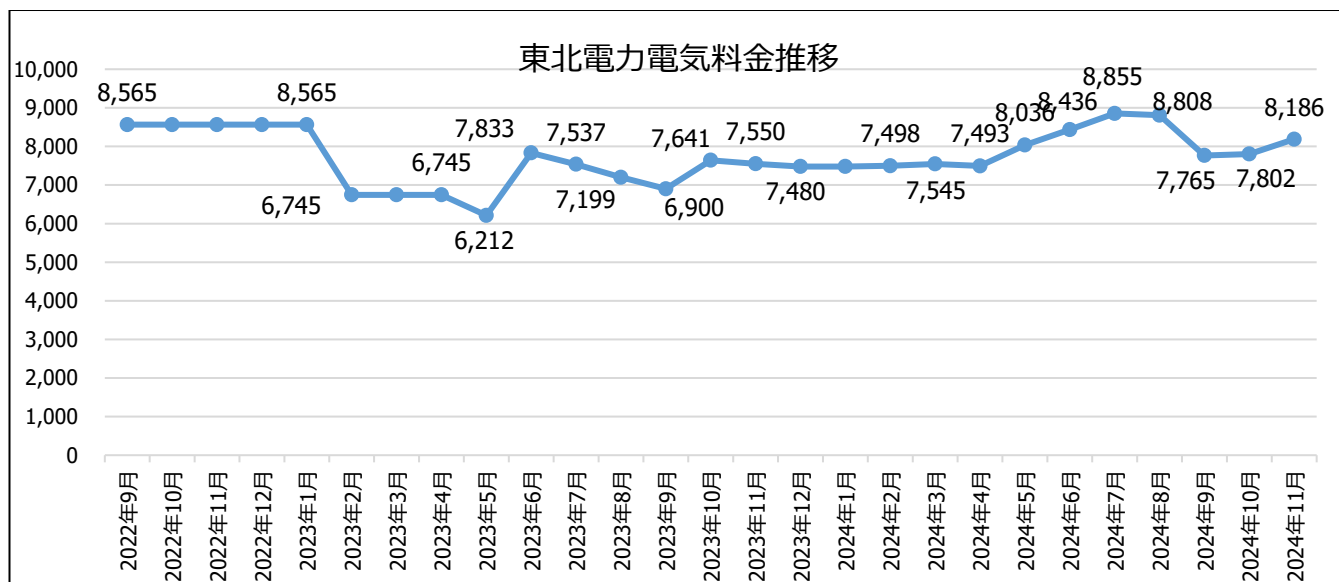


資料出所：エネルギー経済研究所 石油情報センター

《 電気料金 》

東北電力の電気料金は、9月分（8月使用分）は、7,765円、また、国の「電気・ガス料金支援」により、家庭用電気料金の平均的なモデル料金の10月分（9月使用料金）は7,802円となる予定。同支援制度は8・9月使用分が、電気料金1kWあたり4.0円（低圧電気・税込み）、10月使用分は2.5円（同）差し引く特別措置となっている。

＜ 東北電力電気料金（2024年8月） ＞



資料出所：東北電力（従量電灯平均的モデル：契約電流 30A・使用電力量 260kWh）

【個人消費：八戸地区】

《 婦人服 》

夏物セール開催により、Tシャツ、ワンピース、夏服類（カットソーのワンピース・麻のシャツやパンツ）の他、旅行用のアクセサリ・バック・サンダルが好調だった。後半は気温が下がり始めたこともあり、秋物のロングジャケット、ロングスカート、ダウンジャケットも好調だった。

《 紳士服 》

例年、7月8月はスーツの売れ行きが大きく落ちるが、今年の8月はネット予約からのオーダースーツ・フォーマルスーツの販売が伸張。また、各種割引を利用したブランドスーツも好評で、7月のオーダースーツ販売の伸び悩み分もカバーできた。例年の8月と違いTシャツ・ポロシャツ・カジュアルの動きが鈍かった。

《 靴 》

イトーヨーカドー閉店セールの影響により、来店客数が前年を大きく上回り売上好調。メンズはスパットシューズ、コロンビア防水スニーカー（足元をドライに保ち蒸れを逃し通気性が良い）が大きく伸張。レディースはニューバランススニーカーが好調な売れ行き。メンズ・レディース共に夏物サンダルの売上が伸びず苦戦。キッズは、低価格の運動靴が良く売れた。

《 大型家電量販店 》

エアコンは、昨年の猛暑の影響により、1年を通し売上を伸ばしていたが、8月は小康状態となった。テレビは、4k対応の有機EL・液晶55型～75型の大型テレビが好調。夏場に需要が高い洗濯機は、ドラム式乾燥機付が多く動いた。冷蔵庫は例年夏場の買替需要が旺盛だが、今年は伸びず苦戦。掃除機・調理家電（レンジ・炊飯器等）が売れ始めてきた。スマートフォンは、iPhone14・15が売れているが9月中旬より販売開始のiPhone16の売上に大きく期待。

《 家具 》

イトーヨーカドー閉店セールの影響もあり、来店客数は増加となった。家具類は、ソファやベッドの買替需要があった。寝具のNクール商品・日用品・キッチン収納が好調。中でもタンス等の上に置くコンパクトなインテリア仏壇が好評で、前年を大きく上回る台数が売れた。

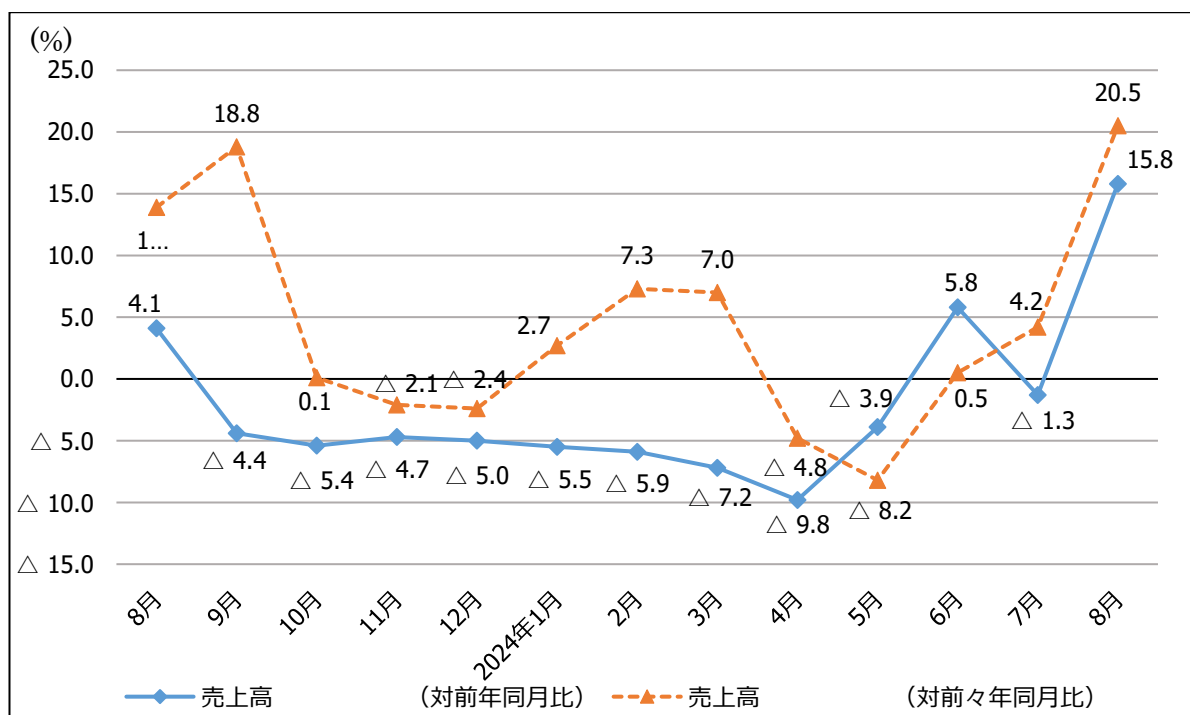
《 時計・宝飾品 》

物価高騰の影響もあり、宝飾品への需要は鈍い状況が続く。消費者はイベント・展示会など新しい商品提案を求め、企画がないと購買意欲が鈍化傾向にある。時計はメンテナンス（修理、電池交換など）がメインで多忙、修理不能になったものは買替の需要がある。昨今の婚姻数の低下によりブライダルジュエリーの売上は伸びず。パール・色石・ダイヤモンドなどの一般ジュエリーは堅調に推移。金価格の上昇が続いており依然として買取りは多いが、新規での購入も増えてきている。

《 市内大型小売店（4店） 》

8月は、全般的に気温が平年を上回る日が多く、アパレルの売上は好調だった。八戸三社大祭、お盆帰省があり食料品（お土産等）・食堂喫茶の売上が盛況。8月の大型小売店の売上は、イトーヨーカドー閉店セールの影響もあり売上を大きく伸ばし前年同月比15.8%増となった。また、一昨年8月は新型コロナウイルスの感染者増加の動きがあり個人消費の落ち込みが見られたこともあり、前々年同月比は20.5%増と3ヶ月連続して増加となった。

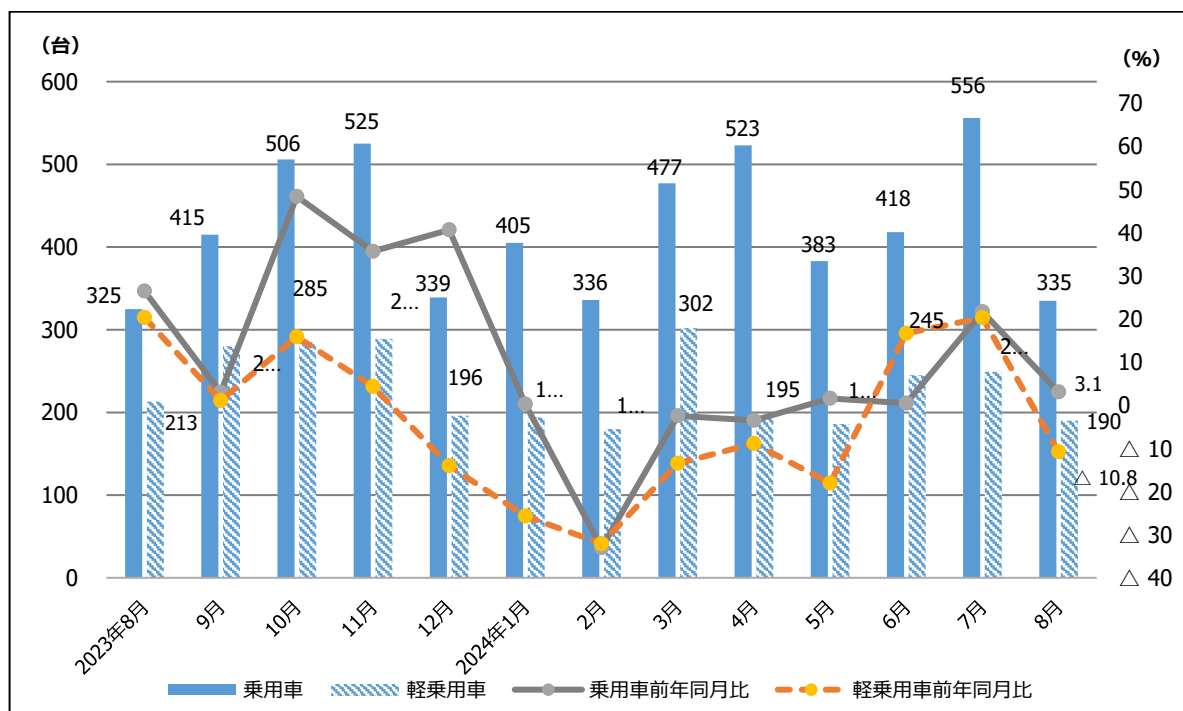
< 大型小売店売上高（2024年8月） >



《 新車登録台数 》

普通乗用車の新車登録台数は、普通乗用車が前年同月比 5.1%増の 166 台と前年同月比増、小型乗用車も 169 台で前年同月比 1.2%増と 3ヶ月連続で増加となった。普通乗用車と小型乗用車を合わせた乗用車全体では前年同月比 3.1%増の 335 台と 4ヶ月続けての増加となった。軽自動車は 190 台と、前年同月比 10.8%減となった。

< 乗用車新車登録台数（2024年8月） >



乗用車 335 台 前年同月比 3.1%増（普通乗用車 166 台 5.1%増、小型乗用車 169 台 1.2%増）
 軽乗用車 190 台 前年同月比 10.8%減

【個人消費：青森地区】

◎青森地区は、ねぶた祭、大型客船のインバウンドによる観光客の増加、お盆の帰省、イトーヨーカドーの7月末閉店の影響により、消費者の流れが変わり個人消費が好調に推移し、大型小売店は売上を伸ばし前年・前々年同月を上回った。家電は昨年の猛暑が続いた影響により「エアコン」は1年を通して売上を伸ばしていたが、各家庭に設置されたことにより8月の売上は前年比30%台と大きく落ち込んだ。靴は、スリッパシューズが好調を維持したが、メンズ・レディースの夏物サンダルが伸びず不振だった。

《 婦人服 》

暑い日が多かったため、Tシャツ・ノースリーブ・ワンピース・ブラウス・カットソー等夏物アパレルと小物（ハンドバック・サンダル）が好調。9月のブライダルに合わせてフォーマルドレスや旅行用のアパレルを購入する顧客が多く見受けられた。

《 紳士服 》

夏物カジュアルのTシャツ・ポロシャツが好調。ビジネスアイテムの半袖Yシャツ・ビジネスパンツ・パジャマスーツも好調。結婚式・法事用のフォーマルスーツが販売好調。

《 靴 》

イトーヨーカドー閉店の影響もあり、メンズは、ビジネスシューズ・スニーカー・スリッパシューズ、レディースは、ケミカルシューズ・ウオーキングシューズ・厚底シューズが好調。サマーセール開催によりキッズサンダルのまとめ買いが多数みられた。メンズ・レディース共に夏物サンダルは不振。

《 家具 》

テレビコマーシャル効果によるクローゼット収納商品・Nクール寝具商品・洗濯関連商品等好調に推移。大型家具は、電動ベッド・ゆったりソファが好調な売れ行きを見せた。

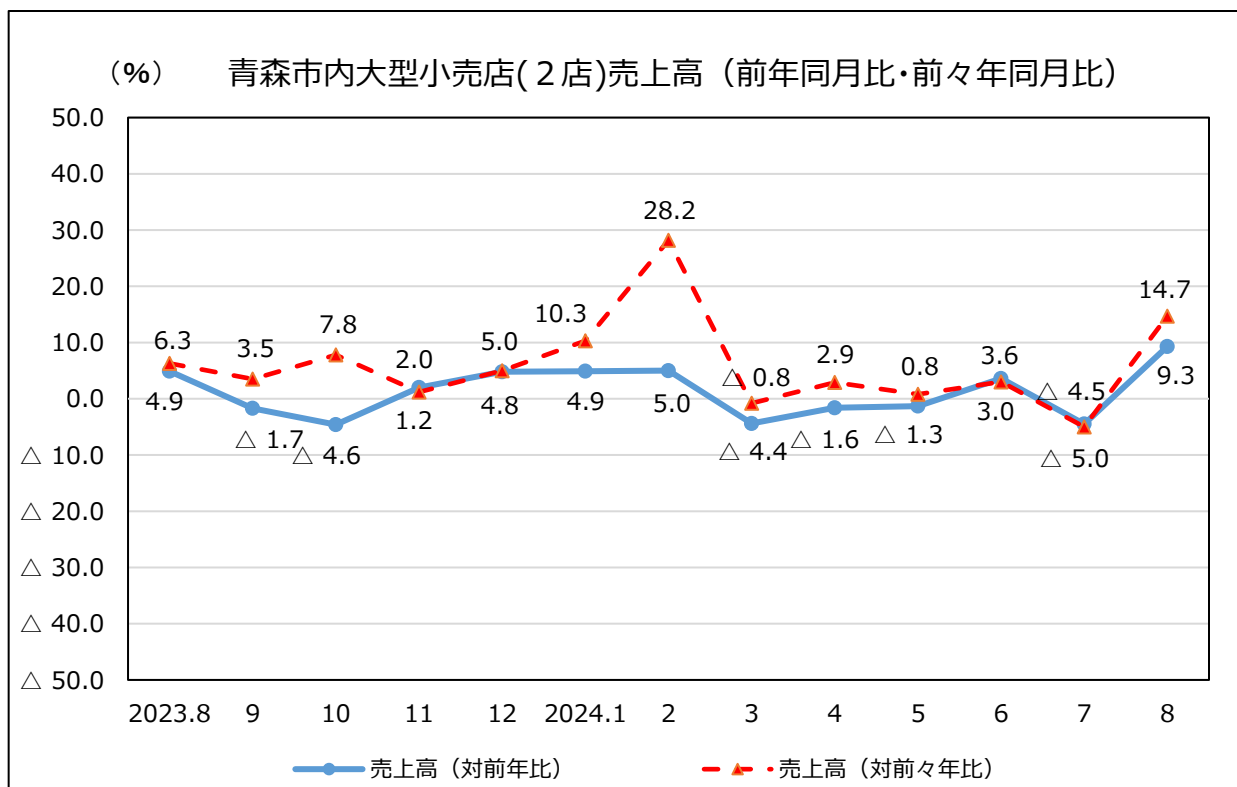
《 家電 》

洗濯機は、ドラム式乾燥機付洗濯機が伸張。昨年夏から1年を通し販売好調だったエアコンは、需要が一段落し前年比30%台と大きく落ち込んだ。スマホは買替需要マッチングと販売単価上昇により前年比大幅アップ。家電製品販売は、来店客数の減少もあり全般的に前年比割れとなった。

《 大型小売店（2店） 》

8月は、ねぶた祭、大型客船のインバウンド効果、お盆の帰省、他商業施設の閉店の影響もあり来店客数が増加、個人消費を押し上げた。紳士・婦人衣料、化粧品、靴等の売上が例年を上回り好調に推移。大型小売店2店舗合計の売上は、前年同月比9.3%増となった。また、前々年同月比においても14.7%増と例年の8月と比較しても売上が大きく伸び好調な月となった。

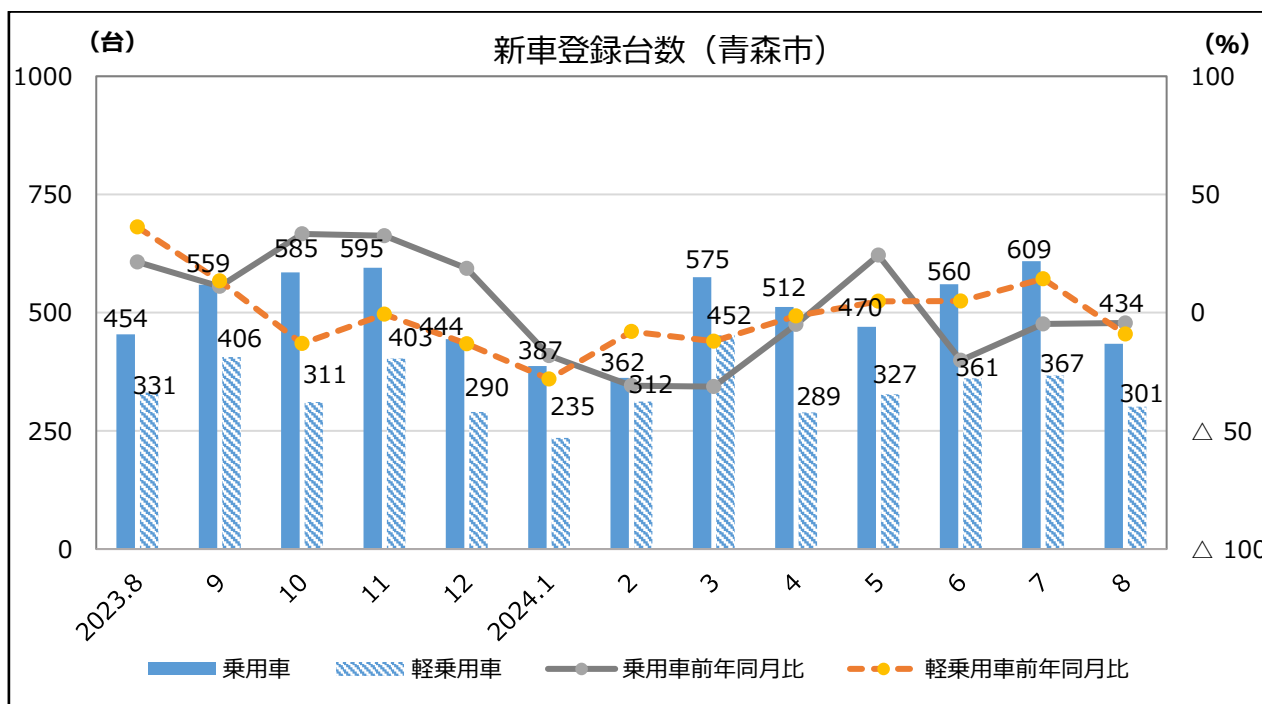
< 大型小売店売上高（2024年8月） >



《 新車登録台数 》

- ・普通乗用車が前年同月比 2.3%減、小型乗用車は前年同月比 6.4%減となった。普通乗用車と小型乗用車を合わせた乗用車合計も、前年同月比 4.4%減となった。
- ・軽乗用車は、前年同月比 9.1%減となり、4ヶ月振りに前年実績を下回った。

< 乗用車新車登録台数（2024年8月） >



乗用車 434台、前年同月比 4.4%減少。(普通車 2.3%減少、小型車 6.4%減少)
 軽乗用車 301台、前年同月比 9.1%減少。